

議会だより



No. 107

平成29年2月9日
発行 大分県日出町議会
電話 0977-73-3135

題字は藤原小6年 ^{にしはら}西原 ^{りの}梨乃 さんです



元気よくスタート(新春健康マラソン大会)

目次

12月定例会

● 予算常任委員会	2
● 委員会報告	4
総務産業常任委員会・福祉文教常任委員会	
● 日出町防災士会、民生・児童委員と意見交換会	6
● 10人が町政全般を質す	7
一般質問	
● 研修視察	18
● 町民の声	20



議員が編集した手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

平成28年

12月定例会

12月定例会は、12月1日から19日までの19日間の会期で開催され、補正予算や条例改正など議案10件を審査しました。審査の結果、補正予算議案を賛成多数、その他の議案を全会一致で可決しました。

また、教育委員の任命の同意案件及び犯罪被害者支援に関する請願を全会一致でそれぞれ同意・採択しました。その他、議員発議により、国に対して地方議員の厚生年金への加入を求める意見書を提出します。

一般質問は10人が登壇し、町政についてそれぞれが当局の所信を質しています。また全員協議会では、町長・副町長・教育長の退職金不支給に向けた取り組みの経過及び第5次日出町総合計画策定のスケジュールの報告を受け、了承しました。

【予算委員会】

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億6083万6千円を追加、補正後の予算総額は102億9112万9千円となります。

【主な歳出】

移住・定住促進

県補助金を活用し、川崎宗行地区の空き家を改修整備して、お試し居住希望者に日出町での生活を体験してもらうため、短期間の居住施設として提供します。

715万円

保育所緊急整備

国の補正予算で急きよ措置された交付金で、日出やま子ども園、藤原保育園、大神保育園、3園の防犯対策強化事業に補助します。

2003万円

おもてなしトイレ整備

観光客用の公衆トイレ改修事業として、糸ヶ浜海浜公園3カ所、城下海岸遊歩道の公衆トイレ2カ所の改修、洋式

化、LED機器への交換、外壁の修繕などを行います。

400万円

畜産・酪農収益力強化整備

地域畜産業の収益力向上のため、町内養鶏場に対し施設整備を全額国庫で支援します。

6849万円



収益力向上のため整備

農道太田線道路改良

防災対策のため、農道太田線沿線の地権者から提供のあった土地を拡幅する道路改良工事の測量設計を委託します。

350万円

太田豊岡駅前線道路改良

歩道等、道路拡幅工事の測量設計を委託します。

150万円

南端コミュニティセンター設備修繕

昭和56年新築以降、改修されていなかった放送機器の修繕、灯具の交換及び施設周辺の伐採を行います。

116万円

高齢者予防接種

65歳以上の高齢者を対象にインフルエンザ、肺炎球菌ワクチンの予防接種予算を追加します。

118万円

的山荘の管理

設備の老朽化により、広間のエアコン取り換え及び玄関勝手口、屋根等の修繕を行います。

176万円

学校給食センターの献立

子どもの安全・安心な食管理のため、献立作成ソフトを導入します。

95万円

【主な歳入】

国庫支出金、県支出金、町債及び財政調整基金繰入金で財源調整します。

補正予算 「お試し居住」の家屋整備費

採決の結果

11対4で可決

【賛成者】		【反対者】	
熊谷 健作	佐藤 隆信	佐藤 二郎	安部 三郎
森 昭人	池田 淳子	工藤 健次	岩尾 幸六
土田 亮治	川西 求一	阿部 真二	岡山 栄蔵
金元 正生	上野 満	衛藤 清隆	

お試し居住事業は、日岬町に移住を検討している人が、住まいや仕事探しの拠点として、安価な賃貸料で町の施設に短期滞在し、実際に日岬町での暮らしや風土を体験して将来の定住へ向けたイメージをしてもらうことを目的としています。川崎区宗行の木造平屋建て家屋(169㎡)を715万円(県1/2補助)かけて整備改修し、お試し居住施設として活用します。



整備改修前のお試し居住施設

【反対討論】 工藤 健次 議員
10月に県の補助金制度を確認後、急ぎよ予算化したもので、場所の選定に問題があると考えます。当該場所に至る道路は、幅員が狭く離合もできないうえ、JRの電車や鉄橋の騒音、異臭問題など生活環境面で問題があります。利用者に対して町のイメージを落とすようなことは避けなければならず、根本的な場所の選定に問題があると考え、十分な調査・検討がまだ必要であると考えます。

【賛成討論】 森 昭人 議員
当該家屋は、日岬駅や各種スーパーも近くにあり、中心市街地も車で数分、宗行公民館も歩いて数分です。地理的には日岬町の中心部に位置し、利用者が日岬町の暮らしや風土を体験し、住まい探しや仕事探しの拠点として活用するには、他に遜色がないと考えます。JR沿線で騒音がうるさいから日岬町のイメージを悪くするというのは、まったくの論外であります。

【反対討論】 佐藤 二郎 議員
利用者に対する町のイメージ・印象が一番大切です。提案されているこの場所では、電車の騒音が懸念される中、日岬町を見学することになります。わざわざ古い家屋に経費をかけることも問題であり、事業終了後は維持管理を含めどう利用するのでしょうか。もっと利便性の高い町所有の家屋は他にもあるはずで、場所の選定をしっかりしていただきたいと考えます。

国に対し意見書提出

地方議会議員の厚生年金への加入を求める

地方分権が進み、地方公共団体の自主・自立が求められる中、住民の代表である地方議会の果たすべき役割と責任は格段に重くなっています。しかし、昨年度実施された統一地方選挙では、町村では議員の立候補者が減少し、無投票が増加するなど、地方議員のなり手不足が深刻化しています。現在、議員を退職した後の生活の保障は基礎年金しかなく、また、それまで加入していた厚生年金は、議員在職期間が通算されないことも、幅広い世代が議員を目指すことができないう要因のひとつであると考えます。

よって、国民の幅広い世代の政治参加や次世代の有為な人材確保という観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう、国の関係機関に対し意見書を提出します。

総務産業

議案等の審査結果

農業委員会の二分化

新たに農地利用最適化推進委員（14人）を選任し、農業委員（現行14人を7人）と役割を分担することで、農業委員会が主たる使命をより良く果たし、農地利用の最適化を積極的に推進します。これまでの公選制から、推薦・公募を経て選考、町長選任の後、

議会の同意を経て任命することになります。

防災担当専門職員を配置

委員会ではこれまで、防災体制の整備・充実を最重要課題の一つとして、先進地視察研修や日出町防災士会と意見交換会を実施するなど協議を重ねてきました。ようやく29年度から、防災に関する事務分掌を見直し、防災担当専門職員を配置するという方針が示されました。

陽谷駅南側に券売機

陽谷駅下り線の利用者の要望を受け、現在の不便を解消するため、駅舎南側に券売機を設置します。設置は受注生産のため、29年3月末になる予定です。

全納報奨金の廃止を検討

個人の住民税と固定資産税で実施している全納報奨金制度を、納税の機会や方法が広がっていることや普通徴収には適用されず不公平となっていること、制度が残っているのは県内で日出町だけであることなどを理由に、30年度から廃止したい旨の報告がありました。委員会では、制度利用者に対し、十分な説明と手

続きが必要であると考え、説明や周知の方法また時期について再度調整するよう要請しました。

共同水道施設の点検

藤原宮の下の事故を受け、単独設置している水道施設21箇所を調査、そのうち圧力ポンプを使用している3施設に対して専門業者による機械点検を求めています。今後引き続き、区長や施設責任者と協力して定期的に点検できる体制で臨むよう要請しました。

地籍調査の早期完了

昭和61年に開始した地籍調査は、平成27年までの30年間で64%しか進捗しておらず、完了まで今後20年の期間を要するとしています。遅延の要因は、担当職員の数や勤務年数、予算の不足が考えられます。一度立ち止まり、町長や総務課、財政課を交えて今後の方針を協議するよう執行部に対し要請しました。

請願の審査

犯罪被害者等の支援に

関する条例制定を求める
請願

国東市ピアサポートの会代表 佐藤悦子氏と大分市被害者支援センター理事長 三井嘉雄氏から提出され、全会一致で可決しました。

【主目】

日出町の住民が犯罪被害者となった場合、いつでも必要な支援を途切れることなく受けられるようにするため、損害回復や経済的支援のための総合的・体系的な条例の整備を要望するものです。

閉会中の審査

11月16日開催

成果課税の協議

地積調査済み面積を固定資産税に反映させる「成果課税」の適用時期をめくり、調査による縄伸びの実例また、課税対象者の増減や税額など成果課税を実施した場合の影響について報告を受けました。しかしながら、全地区の調査完了まで相当な期間を要することを理由に、終了した地区のみ成果課税を実施することは一方的であると判断し、全地区の早期完了に向けた取り組みや計画を提示するよう要



JAと連携強化

請しました。

**糸ヶ浜パークゴルフ場
利用状況**

9月1日に9ホールの仮オープンをしました。11月9日までの利用者数は782組で1899人となっています。

簡易水道統合事業

町営簡易水道（豊岡、南端）及び西の一組合簡易水道を上水道に統合し、平成29年度から上水道事業として管理・運営を行っていきます。

福祉文教

議案等の審査結果

教育委員の定数を変更

新教育委員会制度に完全移行することにより現行定数6人以内を4人へ改正します。

ハロキティとくらすまわち

ハロキティ絵柄入り住民票の交付が12月16日より開始されました。

子育てほっとクーポン

子育て支援事業として、現在「おおいた子育てほっとクーポン事業」により平成27

年4月1日以降出生した子どもがいる家庭に500円券20枚、1万円分を配布しています。

また「ほっとクーポンプラン」は未就学児のいる家庭にも配布していますが、利用制限があり、使いづらいため利用機会が拡大できるように要請しています。

臨時福祉給付金

平成27年度臨時福祉給付金の対象者で、平成29年3月31日までに65歳以上になる方へ、1人3万円を支給しています。対象人数は3320人

で、実績32336人、総額9708万円です。

現在、発行中の平成28年度臨時福祉給付金は住民税非課税者が対象で、扶養親族や、生活保護受給者を除き、1人3千円を支給し、障害基礎年金等受給者には3万円を加算して給付しています。支給対象人数は5999人で11月末現在の支給実績は4000人、総額1743万円を支給しています。未申請者の1999人には、受付が平成29年1月末のため、年内に個別通知の再発送を行う予定です。

給食センター建設検討状況

日出町学校給食センター建設検討委員会設置要綱に基づき、学校給食センター建設検討委員会を設置し、今年度中に検討委員会を開催します。検討委員会では過去の状況確認を行うこと、専門知識を持った方を入れるなど、委員構成も再検討するように要請しました。

閉会中の審査

11月22日開催

認知症高齢者等の安全の確保

日出町認知症高齢者等SSSネットワーク事業により認知症高齢者等が行方不明になった場合に、関係機関及び地域の協力を得て早期に発見するための体制を構築し、家族等の精神的負担の軽減を図ります。併せて、GPS機能を活用するよう要請しました。

町立図書館のコンセプト

教育行政の一環としてどういった図書館を作っていくか、具体的なコンセプトを明確にするよう要請しました。

教育環境の改善

重要課題の一つとして取り組んできた小中学校のトイレ洋式化・エアコン設置事業が進捗しています。エアコン設置では、9月に豊岡小学校の5教室、大神小学校の7教室で総額1718万円をかけ、設置を完了しています。



いつもキティといっしょ



意見交換会



防災士が活躍できる環境を

・ 各行政区への最小限の防災資材や備蓄品の貸与、あるいは防災資材購入の補助金制度枠の増額

・ 個別受信機設置の必要性

その他、防災士が活躍できる環境づくりなど、専門家の立場から様々な意見・要望が出されました。今後、貴重な意見を参考に、防災担当の専門職員の配置や個別計画の策定を町に対し、強力に提言していきます。

【総務産業委員会】

日出町防災士会の

役員と意見交換

11月16日午後7時から、日出町防災士会 池辺長行会長ほか10名の役員の方々に出席していただき、防災士会と関係機関との連携、活動支援など、町の防災行政全般について意見交換を実施しました。

協議事項

■地域防災計画

・ 情報収集や災害別の被災想

定、対策などの個別計画がなく、何時、誰がどのような手段・方法で実行するか確立されていない

・ 自治区単位の自主防災組織のみならず、学校や病院、企業など各種団体との連携など全体計画を具体化した避難における個別計画が必要

■避難・防災訓練

対策本部などの中枢機関や各地区、次いで町全体で継続反復して行う図上訓練・実動訓練・総合訓練の実施

■防災設備

【福祉文教委員会】

民生・児童委員理事と意見交換

11月25日午後1時10分から、民生委員・児童委員 北野理彦会長ほか8名の理事の方々に出席していただき、事前に提出された要望事項等に沿って、具体的な活動状況、内容の実態を把握するために意見交換会を実施しました。

協議事項

■事務局体制の整備

以前は事務・会計処理を町職員か、社会福祉協議会の事務局長が兼任していましたが、現在は特定の人員が不足しており、適切な時期での処理が行われていないため、専任の事務局長配置を要望します。

■活動に対する経費の助成

基本は無報酬での活動に意義があるという思いで活動していますが、年間200日に及ぶ活動をしている人もいて、諸経費も高負担となっているのが現状で、経費の助成を要望します。

■災害時の関係機関との連携

関係団体に働きかけても、会合等は成立しませんでした。災害時のみの対応だけではなく、日常の活動においても、横の連携が必要不可欠であり、関係団体との協議会設置を強く要望します。

活発な意見交換



委員会としても再度精査し、過去の経緯や全国的な状況調査も行い検討します。

◆ 10人が一般質問 ◆

- 1 土田 亮治 議員**
 1. 教育行政全般の取り組みは
 2. 川崎工業団地の現状
- 2 衛藤 清隆 議員**
 1. 消防団員の現状と減少対策
 2. 高齢化に伴う農業振興対策
- 3 川西 求一 議員**
 1. 日出町教育大綱について
 2. 平成29年度当初予算編成の基本方針
- 4 岩尾 幸六 議員**
 1. 自主防災組織の確立
 2. 避難所運営マニュアル作成を
- 5 工藤 健次 議員**
 1. 被災者支援の現状は
 2. 行財政改革への取り組み
- 6 佐藤 隆信 議員**
 1. 新規就農者への生産資材購入支援
 2. 空き家入居者への支援
- 7 阿部 真二 議員**
 1. 5年、10年後の日出町の将来像
 2. 観光資源を活用した観光振興
- 8 上野 満 議員**
 1. 新春健康マラソンの参加者増加策
 2. 県知事との意見交換
- 9 池田 淳子 議員**
 1. 乳幼児のB型肝炎ワクチン補助の拡大
 2. こども食堂開設の取り組みは
- 10 佐藤 二郎 議員**
 1. 日出町の人口動態とその目標
 2. 財政健全化への取り組み

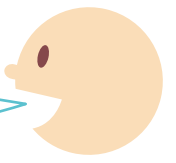
一般質問

町政を問う

12月定例会では、10人の議員から町政全般について、2日間にわたり活発な議論が展開されました。

一般質問

町政を問う



土田 亮治 議員
(藤原地区)

問 教育行政全般の取り組みは

答 教育振興計画に全力で取り組みます

問 新教育長の教育方針は。

教育長

子どもたちが自立した社会人として将来の夢を描き、世界でも活躍できる人材となるよう育成に取り組み、「日出町で学んでよかった」と思えるまちの実現に向け、全力を尽くします。

問 課題の給食センター建て替え計画は。

教育長

喫緊の課題であり、建設検討委員会を早急に設置し、年度内に指針となる基本計画策定に着手します。

問 検討委員会のメンバーは。

教育総務課長
教育長と保護者代表2名、

道徳教科化に向けて、取り組みを進めていきます。

問 いじめ対策、不登校児の対策・対応は。

教育長

人間関係や家庭、学校、地域の環境など、様々な要因があり、保護者や地域、関係機関との連携を密にし、組織的に対応していきます。

問 QIU(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の実施は。

QIU(楽しい学校生活を

送るためのアンケート)の実

入居者募集します



学校教育課長

QIUテストは、不登校やいじめ防止、温かい人間関係づくりに役立つため、一部の学校で取り入れています。

川崎工業団地の現状

問

工場の空きスペースは。

財政課長

貸し付け可能な床面積は1万1684㎡ですが、北棟に関しては企業誘致の可能性が低いと思っています。

問

事務所棟は、毎月30万円程度の地代を払っています。入居の可能性は。

商工観光課長

一企業貸しは難しく、貸付条件整備も必要と思います。

問

ある程度の期間で入居がない場合、取り壊して契約解除する考えは。

財政課長

契約が平成26年5月20日から36年5月19日までの10年間であり、現時点での契約解消は考えていません。



衛藤 清隆 議員
(南端地区)

問 安全安心を守る消防団員の減少対策は

答 使命を広く周知して確保に努めます

問 消防団員の現状と減少対策は。

総務課長

平成28年度は31名の欠員です。団員が知り合いへの声かけや、区長や地元の方々に紹介してもらい、消防団の使命とともに制度や待遇について町を通じ広く周知して確保に努めています。

地域振興

問

休校となった南端小中学校は、今後学校としての機能を残していきますか。

町長 出動手当はいくらが適当か判断が難しいですが、他の市町村の状況と比べても支給の仕方は配慮した内容となっているので条例改正の考えはありません。



安全安心を守るための訓練

教育長

町と地区の代表の方々と、小中学校のあり方検討委員会を設置し検討します。

問

学校の今後の方針と計画は。

教育総務課長

存続させるか用途を廃止して普通財産として施設を貸し出すか、利活用を今後検討していきます。

農業振興

問

農業従事者の高齢化が進み、離農や農地の荒廃が続いていますが町の対策は。

農林水産課長

後継者不足で将来像が描けないのが現状です。農地を積みながら集落営農組織として取り組んで問題解決する方法もあるので、地域の話し合いの場に職員が出向き説明を行っているところです。

問

日出町の新規就農者と農業後継者の過去5年間の現状は。

農林水産課長

平成23年からの新規就農者

は3名、農業後継者は4名です。

問

新規就農者と農業後継者を増やすための対策や支援対策は。

農林水産課長

担い手支援ワンストップ窓口や5年間の営農計画書の作成支援希望者には農業体験のための事前研修や就学支援を行っています。市町村では限界があり国も新たな政策を講じてほしいと思っています。

問

今の農業情勢から見てもまだ荒廃地が増えていくと思いますが、その対策は。

農林水産課長

利用状況調査では、荒廃地の所有者は、ほとんどが作付けする意向はないため、現在、農地中間管理機構への仲介を行っています。

質問を終えて

安心のまちづくりの活力あるまちづくりの推進を



川西 求一 議員
(豊岡地区)

問 町長が策定する「教育大綱」は

答 総合計画との整合性を図り適宜改訂します

問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、平成27年度10月に策定されている町長が定めるべき「日出町教育大綱」について、本町町長の所感と今後の改訂予定は。

町長 現教育大綱は、日出町教育の現状と課題を捉えて、目指すべき将来像と基本指針が盛り込まれていると思います。改訂は、教育を取り巻く環境の変化や施策の進展状況などを踏まえ、日出町総合計画との整合性を図りながら適宜行っていく予定です。

問 日出町教育振興計画の所感と今後の改訂予定は。

教育長 日出町教育委員会が示した

町長が策定する「教育大綱」は

総合計画との整合性を図り適宜改訂します

中・長期的な教育方針は国や県の動向を踏まえており、町の現状と課題に即していると思います。まずは、年度ごとの具体的目標が達成できているかどうかの検証を行い、必要に応じて随時改訂を行いたいと思います。

平成29年度当初予算

問 町長就任後初の予算編成の基本方針は。

町長 当初予算編成にあたり、テーマを「明日への活力と子どもたちの未来を育む安心予算」とし、重点項目は、安心のまちづくりの推進、活力

あるまちづくり推進の2点を掲げています。それぞれの施策は、安心して子育てできるための経済的負担の軽減や、第1次産業の振興による町内産品のブランド化・販路の拡大などです。

問 広い分野の中で特に優先すべき施策は何ですか。

町長 子どもの医療費の無料化の



安心して子育てできる環境を

拡大と、給付型奨学金制度の導入は、制度設計を含め協議を行いたいと思います。「住むなら日出町」と言われるまちづくりに向けた予算編成を行います。

集団フツ化物洗口

問 学校現場での集団フツ化物洗口の保護者説明会の状況は。

学校教育課長 参加率は23%でしたが、後日あらゆる機会を通じて教育委員会よりフツ化物洗口の有効性や実施方法を説明し保護者の理解を深めていきます。

問 教職員への十分な説明と協力を得るべきでは。

学校教育課長 今後もしっかりと対応を行っていきたいと思います。

質問を終えて
選択と集中が一段と必要な時代へ突入します



岩尾 幸六 議員
(川崎地区)

問 行政が自主防災組織へ期待していることは

答 自助共助による人命優先の活動です

問 各地域の自主防災組織活動は、かなりの温度差が見受けられますが、各防災組織へは、どのような活動を期待していますか。

か、また町として予算を計上するのか、どのように考えていますか。

総務課長 自治公民館への備蓄に関し

総務課長 地域住民の防災意識を高めるには避難訓練が重要と想っています。地域の避難訓練時に必要な物品や備蓄品を各避難所で整備することで、地区ごとの活性化を期待しています。

問 自主防災組織で地域避難所での備蓄を進めていくようですが、備蓄品を揃える費用は、各自治区で県の補助制度を上手く利用するの



防災意識を高めましょう

では、一時避難所となる自治公民館にも必要な備品を揃えて頂きたいと考えています。これが可能となるような制度がでないか、今後財政課などと協議していきたいと思えます。

問

有事の際、町内では16の施設が指定避難所、14の施設が福祉避難所として登録されています。4月の熊本・大分地震では、一時避難所として開設された6カ所の避難所に町の職員が3名ずつ配置されていました。各避難所に配置される職員は、どのようにして配置を行っていますか。

総務課長

指定避難所は、救援対策部所属の職員が各避難所に配置されました。

問

避難所ごとに担当が決まれば、固定していますか。

総務課長

職員の配置は固定化されていないのが現状です。来年4月の人事異動の際に救援対策本部で選出を考えています。

問

避難所を運営する際、地域の住民代表者や避難所運営管理チームとの連携が不可欠であると考えます。地域の代表者や運営管理チームとの協議を定期的に行う仕組みは持っていますか。

総務課長

避難所運営マニュアルは、現在は作成予定ですが、その中に自助・共助・公助による仕組み作りを掲載して、ご指摘の内容を協議する仕組みを記載すべきだと思っています。

質問を終えて

早急に避難所運営マニュアルを完成させ、各避難所に設置して頂きたい



工藤 健次 議員
(大神地区)

問 被災者支援の現状は

答 見舞金や税の減免等
を行っています

問 被害者支援は十分と考えますか。また担当窓口はどのようになっていますか。

総務課長 他市町村の状況を見ながら検討をさせて頂きたい。統一窓口はありません。今後は、総務課として被災者の要望を聞きながら、支援を行う担当課へつないでいきます。手続きのパンフレット等は、至急作成をします。

問 犯罪被害者支援をどのように考えますか。

総務課長 町独自の支援制度は、ありません。

町長 犯罪被害者の権利利益の保護を図ることは重要と考えて

おり、県の条例整備の状況を見ながら取り組みます。

問 町が取得した日出駅前病院跡地を今後どのように活用しますか。

財政課長 平成28年の3月に、駅の利用者を中心とした駐車場用地として確保したところです。周辺環境が変化し、極めて利用価値の高い土地と考えており、当面は駐車場として、必要最低限の整備で運用します。

問 駅前交差点の改良計画

あり、県の条例整備の状況を見ながら取り組みます。

問 駅前交差点の改良計画



日出駅前の町有地

問 画の現状は。

都市建設課長 28年度になって県と現地

で植木の撤去等を確認しましたが、電柱移設場所の問題、また難工事が予想されることから検討中になっています。

問 通学路の整備

道幅が狭く交通量が多い危険な道路を整備する公約の、

問 具体的場所などは。

町長 危険であると思われる地域

は、豊岡、日出、川崎小学校区等数カ所あり、調査を進めて学校に近い部分を優先的に整備していきます。

問 行財政改革

積極的に行財政改革に取り組み、事業の選択と集中を進める公約は。

町長 現在実施している事務事業

の評価制度を、再度精査していきます。選択と集中の観点から、必要な部署に人を、重要な事業に予算を、効率的な行政執行に努めてまいります。

質問を終えて

機構改革を実施して、危機管理体制の充実強化を望みます



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 新規就農者への生産資材購入支援を

答 見合った制度があるか検討します

問 日出町の限界集落が10年先には29地区もできるそうです。農村地帯は高齢化が進み、農業後継者がいなくなり遊休農地が増えるばかりです。今こそ新規就農者を一人でも増やす対策が必要ではないでしょうか。新規就農者への生産資材購入などに支援を行っている市町村は。

農林水産課長

県内では臼杵市、豊後高田市、豊後大野市が独自の支援を行っています。

問

豊後高田市、豊後大野市は機械や倉庫、苗、肥料、農薬などに支援をしています。日出町は現在このような支援はないと思いますが、今後支援を行う考えはありませんか。

農林水産課長

他市にならない、日出町に見合った制度があるか十分検討いたします。

問 正規職員の増員と非正規職員の待遇改善を

問 現在の日本の企業の雇用形態は非正規労働者が4割近くになっています。日出町に正規、非常勤、臨時の職員は何人いますか。

総務課長

正規職員209名、非常勤84名、臨時職員が42名います。

問

非常勤と臨時職員で37%ほどであったのが、12月現在では40%ほどになっています



正規職員の適性配置を

ます。増えた原因は。

総務課長

特殊資格を保有する正規職員の産休、幼稚園預かり保育にかかる臨時職員の採用、新図書館開館や文化財関係での増員です。

問

定数欠員補充と、新しい職場には、正規職員を。

町長

新しい所属ができたときは、一定の職員の配置、増員が必要であろうと理解しています。

空き家入居者に町独自の支援を

問

空き家バンクを町も行っていますが入居者に対する支援は、県の財政支援10万円の他にありませんか。

政策推進課長

県外の移住者に対して45万円の補助と町外からの移住者に10万円の補助があります。

問

県内外からの移住者に対して家の修理などの助成制度を行う考えはありますか。

町長

過疎化が厳しいところで活性化を期待できる移住者に対して検討する余地があると思っています。

質問を終えて

検討すると答えたことは、次回の質問のときには、はつきりとした回答を



阿部 真二 議員
(大神地区)

問 5年、10年後の日出町の将来像は

答 住むなら日出町と言われる町を目指します

問 5年、10年後、町長は日出町がどのような町になっていくことを想像していますか。

町長 住民の皆さんからだけでなく、町内外の皆さんから「住むなら日出町」と言われるような町づくりを推進していきます。

教育方針

問 2学期制を推進して良かった点、悪かった点は何ですか。

学校教育課長 2学期制により生み出されている授業時間数により、余裕のある授業や個に応じたきめ細かな補充学習を行っています。また、学期が長くなつたことで多くの評価資料を収

集することが可能となり、絶対評価に対応した多面的な評価活動が充実してきました。

問 悪かった点については特に感じていませんが、2学期制と3学期制の違いから県レベルで見たときに日程のズレ等が生じて、その対応が学校現場でやりにくくなっています。

問 2学期制としての問題はありますか。

学校教育課長 2学期制導入後5年経過した時に、保護者・教職員アンケートを実施しました。また、昨年度学校へのアンケートを実施しましたが、保護者の立場からすると課題がある可能性は

あるので、保護者アンケートを実施し、情報収集を行い検討していきます。

問 小中一貫校への移行は検討されていますか。

学校教育課長 小中連携の取り組みは進めており、まずは小中連携教育の充実を課題として取り組んでいきます。今後、小中一貫教育の研究をさらに進め、前向きに検討していきたいと考えています。



小中連携の進む大神小中学校

観光振興

問 今まで築いてきた観光資源をどのように活用し、観光振興に活かしますか。その具体的な取り組みは。

商工観光課長 本年度の主要事業は継続しながら、観光プロモーション映像による誘客活動、また、大神・糸ヶ浜海岸線を中心とした食やスポーツツーリズムを視点に入れた取り組みを考えていきたいと思えます。

町長 観光振興は、単独の町で取り組むのではなく、町村の枠を超えた地域連携が重要な要素となつてきます。あらゆる関係団体と情報共有を行いながら取り組んでいきます。

質問を終えて
日出町だからこそできる政策を



上野 満 議員
(大神地区)

問 新春健康マラソン大会の参加者の増加を

答 大会要項を検討します

問

ここ数年の参加者の推移は。

生涯学習課長

過去3年間の申込者の推移は、平成25年度601名、26年度620名、27年度670名です。

問

これまで大分シティマラソンと開催日が同じでしたが、27年度には50名増加しています。日程を変更した効果があったのでしょうか。

生涯学習課長

その要因は明らかではありませんが、効果があったと思います。

問

参加者を増やすための今後の取り組みは。

生涯学習課長



参加者を増やす取り組みに期待

問

早めの募集、日程の見直し、種目の増加、コース設定も含めて検討したいと思います。

せっかく大神海岸線を走る

のですから、観光振興の面からもソラージュの入浴券、糸ヶ浜のパークゴルフやサップの利用割引券、ハーモニーランド、大神ファーム、石ころたちの動物園等の入場割引券を配布したり、町内の飲食店の協力で、海鮮丼等を提供してもらうことはできませんか。

生涯学習課長

協力者の意向もあるので、検討はしていきます。

問

大会会場内にある公衆トイレは、大神港の朝市に訪れる多くの買い物客も利用します。昨年の漁協との意見交換会ではトイレ改築の要望もあり改築・新築の予定はありますか。

農林水産課長

漁業者や来場者のために漁港区域内に多目的トイレの新設、また設置費用に補助金制度を利用できないかを、現在検討しています。

問 県知事との意見交換

11月1日の広瀬知事との意見交換の内容は。

町長

まず、「城下かれいの養殖」ですが、稚魚を中間育成施設で12cm程度まで育成し、その後、養殖池で20cm程度まで育成しています。養殖には養殖池の水温管理や環境づくりなど専門的な技術が必要になるので、技術の支援や専門的な知識を有する人材の確保を県にお願いしました。

次に、「的山荘の耐震補強」です。既に築100年以上が経過し老朽化が進んでおり、適切な保存修理が必要で、多額な事業費になることが想定されるため、国への働きかけ、県の指導及び補助金等の支援をお願いしました。もう1点は、「T-1跡地の企業誘致」です。県の担当課や県外の県事務所と連携し、情報発信、企業訪問を行った旨を申し上げ、ご支援をお願いしました。



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問 乳幼児へのB型肝炎ワクチン対象拡大を

答 感染リスクの高い乳児に限って検討します

の対象拡大を考えたいと思います。

子ども食堂

問

さまざまな家庭の事情により、家庭で十分な食事をとることが出来ない子どもに対して、無料または安価な食事や居場所を提供することを目的に、子ども食堂の開設が全国的に広がりを見せています。日出町では取り組み計画はありますか。

福祉対策課長

子どもやひとり親世帯の貧困が大きな社会問題となっており、食事の提供やそ

非構造部材の耐震化

問

以前にも質問しましたが、非構造部材の耐震調査・点検は行いましたか。

教育総務課長

平成24年に、国が示した于エックリストをもとに、全小中学校、幼稚園の職員による



非構造部材の耐震調査を

点検を実施しました。また、都市建設課建築係と合同で修繕要望箇所の調査を実施しています。

文化ホール建設

問

千人収容できる施設を建設するとして、土地の面積、工事期間、費用など、建設に必要な要素は。

生涯学習課長

敷地面積6400㎡、建築面積2900㎡、設計期間6カ月、工事期間1年6カ月、工費は約17億2千200万円、周辺環境整備や駐車場整備6千800万円、合計約17億9千万円となります。

問

建設の意思はありますか。

町長

必要性は感じていますが、人口減少時代の中、町単独で所有する必要があるのか、長期的に検討していかなければならないと思います。

町長

同居の家族にB型肝炎キャリアがいるなど、感染リスクが高い子どもさんには何らか

問

昨年10月2日から今年の3月31日までに産まれた乳児は、1歳未満でありながら制度の対象になりません。不公平を解消するために、全額でなくとも補助ができませんか。

福祉対策課長

対象者は84名、接種率は75%ですが、自費で接種している乳児の分を含めると接種率はもう少し高くなります。

問

今年4月1日以降に産まれた1歳未満の乳児を対象に10月1日からB型肝炎ワクチンの定期接種を開始しましたが、対象者数と接種率は。



佐藤 二郎 議員
(大神地区)

問 人口減少のなか人口将来展望は

答 10年後2万7765人を目標にします

問 日出町の人口動態をどう受け止めていますか。また、目標とする将来人口は。

町長 昭和40年代後半から増加していた町の人口は、平成25年に減少に転じました。人口減少は町の活力の衰退につながりかねないことから、非常に重要な問題だと認識しています。そこで、人口ビジョンによる10年後の人口2万7765人を目標として施策を講じていきます。

クラブなどの環境整備に努め、子ども医療費無料化の拡大にも取り組みます。

問 子育てには経済的負担が大ききな問題ですが対策は。

町長 少子化対策の考えは、保育園、放課後児童



人口の増加を目指して

町長 給付型奨学金の創設を考えています。

問 高齢者に対する施策は。

町長 健康寿命の延伸に力を入れていきます。

健全な財政運営の取り組み

問 町の財政状況をどう受け止めていますか。

町長 本町の財政運営は厳しいと考えています。最大の要因は、県内最下位である財政調整基金等の基金の少なさであり、現在は、常に基金の枯渇が不安視される状況下での予算編成が行われており、中・長期的な視野で財政運営を考える必要があります。

問 財政健全化の目標はどのようになっていますか。

町長 当面は財政調整基金が10億円を維持できるようにしたい

と思います。

問 プライマリーバランスについての考えはいかがですか。

町長 町債残高が一般会計で100億円を超えています。大型事業も控えており、今後は、町債残高が増加し財政力指数の悪化が予想されます。プライマリーバランスを注視し、未来に負担をかけないように守っていきたいと思います。

問 行政改革はどのようなことを行いますか。

町長 少子高齢化対策など行政需要に因應するために各種施策の必要性、緊急性の優先度を勘案し、予算及び人材の重点化を図る経費の削減に努め事務事業評価制度を考えていきます。

質問を終えて

町長として強いリーダーシップを期待します

先進地に学び
今後の施策に活かす

研修視察

総務産業常任委員会

日程

10月31日～11月2日

研修先

神奈川県大磯町

横須賀市

研修目的

防災体制の整備・充実と
観光農園

PDCAサイクルで 町民の防災意識向上

▼大磯町

大磯町は、面積17km²、人口3万1千人、神奈川県南部で相模湾に面し、町の6割を丘陵地が占めるなど、町の地形や規模が日出町と似ています。土砂災害や地震・津波などの大規模自然災害に対応するため、民間主導で開催する防災会議や各種訓練を反復実施（PDCA）を実施することで、町民と役場職員の防災意識を向上させ、災害発生時の迅速



もしものための体制作りを

かつ的確な行動につなげていきます。

また、日出町と財政規模がほぼ変わらない中で、危機管理課に5人の人員を確保し、課長は消防からの出向です。

大磯町は、これまで大きな災害に見舞われたことがなく日出町と同様に比較的災害の少ない町です。それにも関わらず、通年で、訓練や住民主体の防災会議を継続して実施できていることに敬服しまし

た。日出町でも、最低2名の専門知識をもった担当職員を有する係あるいは課を設置して、防災体制の整備と町民や職員の防災意識の向上に努めなければならぬと考えます。

▼津久井浜観光農園

後継者不足や嫁不足がない農業経営

昭和43年に京浜急行電鉄とのタイアップでみかん狩りを始め、さつまいも、ジャガイモ、落花生掘り、イチゴ狩りと規模を拡大し、野菜や加工品の直売も手掛けています。また、水遊びができる親水公園やふれあい公園、ハイキングが楽しめる遊歩道も整備し、年間を通しての集客に成功しています。利用者数は年間約9万人、多いときで1日3千人の来場があるということです。地区のすべての農家が観光

農園を運営する振興協議会に所属し、どの農家にも後継者があり、嫁不足もないということ、地区全体が協力体制にあることが成功の秘訣であると実感しました。

日出町でも農家や民間資本、JAや行政が連携し、付加価値の高い農産物や加工品を生産・販売する新たな取り組み、強力なリーダーの育成が不可欠であると考えます。



規模の大きい観光農園

福祉文教常任委員会

近代給食センター

日程

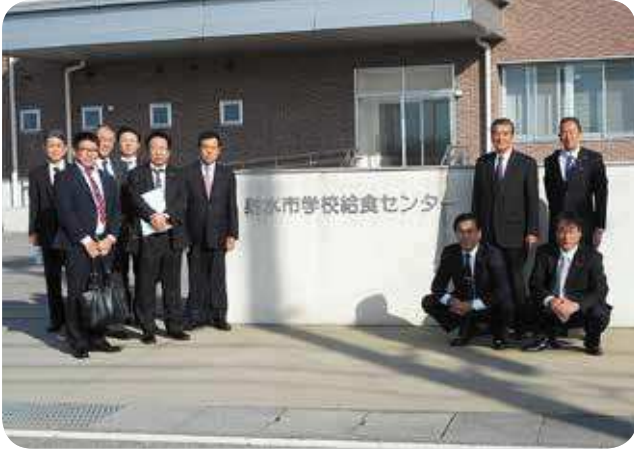
10月26日

研修先

富山県射水市

研修目的

日出町の給食センターは、昭和59年に建設され、31年以上経過し、耐震及び衛生管理また、防災面からも建設場所も含めて建て替えが喫緊の課題であり、近代給食センター



日出町にも新給食センターを

の情報入手と問題点の把握を先進地で研修。

研修内容

▼施設 学校給食センター

開設 平成23年8月1日

敷地面積 5675.94㎡

建物 鉄骨造2階建て

延床面積 2180.53㎡

1階 1879.38㎡

2階 301.15㎡

調理法式 ドライシステム

調理能力 5千食/日

建設費 10億3500万円

設備費 1億8300万円

配食 2850食

アレルギー対応

平成23年9月より実施

まとめ

耐震対策、安全確保、衛生管理等は、近代給食センターの必須課題ですが、建設経費が膨らまないように節約した部分での不具合が少しずつ生じています。経費削減は当然必要なことですが、日出町の学校給食センター建設時には、こういった研修内容を生かし、長期的な観点での検討をしていかなければならないと思います。

学力向上

日程

10月28日

研修先

石川県内灘町

内灘町教育委員会

研修目的

子育て世代の定住、移住のため、特徴ある町づくりとして学力向上に取り組む先進地を視察。

研修内容

▼内灘町概要

面積 20.38km²

人口 2万6787人

学校編成 町立学校

小学校 5校

中学校 1校

特色ある事業

○いしかわ道徳教育推進事業

児童生徒の郷土を愛する思いやり、規範意識などの道徳性の育成に向けて、いしかわ版道徳教材を用いて、家庭や地域社会と連携した心に響く道徳授業の充実。



教育への熱意が大切

○学びの組織的実践推進事業
各市町及び学校における安定的な学力向上システムの確立。

まとめ

具体的に段階に応じた目標、役割分担が明確であり、組織的な取り組みが確立されています。学力向上に繋がっている最大の要因は、教員の意識の高さであることが伺えました。

町民の 声

『呼び方』



大神原山区
熊谷 恭男

皆さんは他の人から何と呼ばれていま
すか？苗字、名前、お父さん、先輩など
相手や場面によって様々な呼び方あり
ます。同じ呼び方をされてもその時々で
感じ方は違います。

先日のニュースで「高齢者の定義を
七十五歳から」とありました。以前に
比べて身体や知的能力が十歳若返ってい
るといふデータに基づいた提言です。
生き活きた生活が可能な七十歳前後
の人たちを社会に活用する意図も感じら
れます。

たかが呼び方ですが気分的精神的には
大きな意味があると思います。ある人は
六十五歳になったら自ら「高齢者」のレッ
テルを貼ってその能力を封印してしま
う。ある人は自分ではまだやれると思っ
ていても、電車で席を譲られたり必要以
上に大切にされている内に「高齢者」意
識が芽生えてくるに違いはない。これは社
会的ロス、人的資源の損失です。そんな

れば私はあと二十年は現役で取り組む必
要があるということ、気合を入れ直して
頑張ろう。

最近、町議会の傍聴に行きます。最初
に思ったのが、議長が質問する議員のこ
とを「〇番」と呼びます。凄じ違和感を
覚えました。まるで罪を犯した人が刑務
所で呼ばれている様で、冷たさや疎外感
がありました。議場では常識で以前から
の慣行かもしれませんが、初傍聴者には
ショックな光景でした。質問者を指名す
る時に「〇〇さん、〇〇議員」と呼び方
を変更することは出来ないのでしょうか。
素人考えかもしれませんが、名前で
呼ぶほうが親近感が湧きますし議員も質
問に力が入り、議会の活性化にも繋がる
と感じます。議会を土日に開催すれば傍
聴者が増え、町民と議会の距離が縮まる
効果もあると思います。

一町民として、議会の益々の活躍と日
出町の更なる発展を願っています。

教育改革に期待します

教育委員会委員

次の方が新しく選任されま
した。



利光 弘文 氏
(大神・上深江)

3月定例議会の予定

- 2月20日 議会運営委員会
- 24日 本会議(初日)
議会運営委員会
- 28日 本会議(議案質疑・
一般質問)
- 1日 本会議(一般質問)
- 2日 常任委員会(予算)
- 6日～8日 常任委員会(予算)
- 9日・10日 常任委員会(所管)
- 13日 常任委員会(予算)
- 議会改革特別委員会
- 14日 全員協議会
- 議会報編集特別委員会
- 15日 議会運営委員会
- 17日 本会議(最終日)

編集後記



最近、高齢者ドライバー
による交通事故が大きく
報道される。原因の多く
はアクセルとブレーキの
踏み間違いによるもので、
年齢を重ねると、自分の
意思とは関係なく、とつ
さの判断力や反射神経が
低下してくるのだらう。
また、高齢者に限らず運
転のマナーについて問題
を感じる。後方から救急
車が近づいてきても道を
譲らない、バスレーンを
平気で走行する、車線変
更禁止区間での車線変更
などが目に付く。これら
の行為は恐らく自分の意
思だらう。

きちんとした判断力の
ある人が時間と心に余裕
を持った運転をすれば、
もう少し交通事故は減る
のではないかと思う。

(池田 淳子)

- | | |
|-------|-------|
| 編集委員長 | 森 昭人 |
| 副委員長 | 土田 亮治 |
| 委員 | 池田 淳子 |
| 委員 | 上野 満 |
| 委員 | 阿部 真二 |
| 委員 | 岡山 栄蔵 |